

花びらに 白き光や 夏つばき

夏の謝恩セール

9月9日(火)まで開催

はかなくも美しく咲く夏椿。なめらかな樹皮と厚みのある葉をもち、夏、椿によく似た花を咲かせることから夏椿の名があります。また別名をインド原産の沙羅樹とまちがったことに基づいてシャラノキの花とも呼びます。平家物語の一説に「沙羅の花」、「沙羅双樹」が登場します。釈迦が入滅された時に一斉に花開いて散ったという沙羅双樹はこの夏椿とは無縁の花です。しかし、朝に花開いた夏椿の花びらがその日の夕方には、がく片から押し出されるように枝を離れて、白く緑苔の上に散り敷かれている風情には、「我が世誰ぞ常ならむ」と相通ずる覚悟を感じます。夏椿は一日花で次々と咲いては、散るを繰り返す。黙って咲き、黙って散っていく、そうして再び枝には帰らない。けれどもその一時一処にこの世のすべてを託している一輪の花の声であり一枝の花の真であります。永遠にほろびぬ命のよるこびが悔いなくそこに輝いているのです。そのはかなくも輝くさまが人々に愛される所以であり、花ひとつひとつの命に惹かれるのです。さて、お盆が近づいてまいります。お盆とは、梵語の盂蘭盆会のこと。会とは仏が説法する場を言い、盂蘭とは逆さ吊りの苦しみ(倒懸)を表し、むさぼりに支配された餓鬼界を意味します。その苦しみを救うために、盆に種々の飲食を盛り衆僧に供養することから後に祖先の霊を供養して冥福を祈り、餓鬼界から救うという行事となりました。釈迦の十大弟子の一人目連が餓鬼道に堕ちた母を救うために行ったとの盂蘭盆経の説話に依るとされ、諸説ありますが、日本では推古天皇十四年(六〇六年)に行われたのが、その始まりとされています。また供養とは「供給資養」の意。財物を捧げる(賤供養)のみでなく、法を信じ修行すること(行供養)こそが真の供養とされることから、常盆・常彼岸の気持ちで、お盆を節として自身の行動を顧みながら、先祖を敬うことがもともと大切なことでしょう。

御影石材 一つのこだわり

1、安心の国内生産・加工

当社は、現在流通している数百種にも及ぶ石材の中でも特に美しく堅牢な石だけを厳選使用しております。

2、書家による揮毫

文字は石碑の顔ともいえる大切な要素。当社は、有名書家による揮毫にこだわり、一枚一枚、一筆に心を込めております。

3、深い文字彫刻

書家によって書かれた文字は、彫り師の卓越した技術があつてこそ、さらに命が吹き込まれます。

4、永代保証

品質・施工に責任を持ってお付けする御影石材ならではの永代保証。万一の場合は、無償で修理・交換いたします。

ご来店の方に
これ1冊でお墓のすべてがわかる
「石」パンフレット
進呈

ご成約の方に
(文字彫刻等を除く)
① 通常価格の **1割引** で
させていただきます。

さらに、新規で
建墓ご成約の方に
② プリザーブド
フラワー進呈



津借楽公園西側です



●本店・展示場 津市広明町1007-1 (営業時間/AM9時~PM5時・水曜日定休)

☎059-224-1700(代) (石に専用) ☎0120-142540

リニューアル!

当社ホームページが新しくなりました!
<https://mikage-stone.com>



高田本山御用達店・三重県仏教会御推薦店

御影石材株式会社

夏季休暇 8月11日~8月17日

恐れいりますが、左記期間は休業とさせていただきます。